

堺市立梅文化会館指定管理者候補者審査基準（案）

【資料4】

条例に定める指定の要件等	審査項目	審査の視点	配点	計
(1) 事業計画が市民の平等利用その他の観点から適切なものであること。 (文化会館条例第19条第3項第1号)	①管理の基本方針	管理の基本方針が、施設の設置目的及び当該業務の目的を的確に認識し、また、自由都市堺文化芸術推進計画をふまえた上で具体的に示されているか。	4点	8点
	②平等利用・安全の確保	市民の平等利用や安全の確保等、当該業務において回避しなければならない事象（リスク）を具体的に認識した上で、回避するための具体的な方策が示されているか。	4点	
(2) 事業計画を確実かつ安定的に実施するに足る経理的基礎その他の経営に関する能力を有すること。 (文化会館条例第19条第3項第2号)	①安定的な経営資源	当該管理業務を行うために必要な経営資源（ヒト、モノ、カネ、資格・ノウハウ等）を的確に認識した上で、指定期間中を通じて、それらを確保する具体的な方策が示されているか。	4点	8点
	②財務規模、組織状況	事業内容に比べ、財務規模や組織体制が過小ではないか。また、経営状況に問題はないか。		
	③事業実績	類似事業の実績があるか。また、成果を挙げているか。	4点	
(3) 利用者の意思及び人権を尊重し、常にその立場に立ったサービスが提供できること。 (文化会館条例第19条第3項第3号)	①利用者・利用者ニーズの把握	当該施設の利用者の特性及びニーズを的確に認識しているか。	4点	8点
	②広報・モニタリング計画	利用者への情報提供、広報宣伝についての考え方が適切であり、これを実現するための具体的な方策が示されているか。また、使用者の意見聴取と管理業務への反映について、具体的な方策が示されているか。		
	③人権尊重の考え方	人権尊重の考え方が適切か。		
	④障害者等への考え方	障害者や高齢者、子どもなどの利用に配慮した考え方が適切であり、これを実現するための具体的な方策が示されているか。		
	⑤個人情報保護、情報公開の考え方	個人情報の保護の考え方や措置、情報管理体制が適切か。また、情報公開に関する考え方や取組姿勢が適切か。		
(4) 効果的かつ効率的な管理を実施できること。 (文化会館条例第19条第3項第4号)	①休館日、開館時間の考え方	休館日、開館時間が市民サービスの向上に繋がっているか。	7点	17点
	②利用料金の考え方	市民が利用しやすい料金になっているか。また、利用料金の還付、減免に対する考え方が適切か。		
	③人員配置、人材育成の考え方、研修計画	適切な人員配置（障害者、高齢者等を含む。）がなされているか。また、人材育成、研修計画が適切か。	5点	
	④苦情対応の考え方	利用者からの苦情、要望への対応の考え方が適切であり、これを実現するための具体的な方策が示されているか。	5点	
	⑤非常時対策	非常災害時等に対応できる組織体制が組まれているか。また、業務継続に対する具体的な方策が示されているか。		
(5) 施設の効用を最大限発揮させることができること。 (文化会館条例第19条第3項第5号)	①目標設定	当該施設の設置目的を的確に認識した上で、具体的な目標が示されているか。	8点	31点
	②目標達成の方策	上記目的や目標を達成するための具体的な方策や工夫が示されているか。		
	③文化芸術振興事業の実施計画	ホール活用事業（鑑賞型、参加型、普及型）及び生涯学習施設活用事業について、その目的（優れた文化芸術に触れる機会の提供、多彩な文化活動の促進、次世代の文化を担う人材の育成、市民文化芸術活動の促進）を的確に認識した上で、十分な機会を提供しているか。また、社会課題の解決に貢献する事業及び茶の湯の文化の振興に関する事業について、その目的を的確に認識した上で、事業提案できているか。	15点	
	④自主事業の実施計画	施設の活性化や賑わいにつながるような事業の提案ができているか。自主事業に具体性、実現性、独創性があるか。また、収支計画が適切か。	8点	
(6) 管理経費の縮減が図られること。 (文化会館条例第19条第3項第6号)	①経費削減の考え方・方法	費用低減に向けた具体的な方策や工夫が示されているか。	8点	12点
	②収支計画	収支計画が適切か。		
	③指定管理料の削減	市の指定管理料の積算額と指定期間における指定管理料の提案額（平均額・小数第1位四捨五入）を比較し、削減率（小数第2位四捨五入）に応じて付与 削減率 2%以上4%未満：1点 4%以上6%未満：2点 6%以上8%未満：3点 8%以上：4点	4点	
(7) 前各号に掲げるもののほか、市長が定める要件 (文化会館条例第19条第3項第7号)	①障害者等就職困難者の雇用	障害者等の就職困難者の雇用や訓練機会の提供等についての考え方が適切であり、これを実現するための具体的な方策が示されているか。	10点	16点
	②市内経済の活性化	市内業者の活用や地元住民の雇用等の市内経済活性化についての考え方が適切であり、これを実現するための具体的な方策が示されているか。		
	③地域振興、地域コミュニティの醸成	地域団体、地域住民、NPOとの協働による取組等の地域振興や地域コミュニティの醸成についての考え方が適切であり、これを実現するための具体的な方策が示されているか。		
	④環境問題への取組	省資源、省エネルギー、リサイクルの推進等についての考え方が適切であり、これを実現するための具体的な方策が示されているか。		
		次の項目に該当する場合は、配点を上限として項目ごとに2点ずつ付与 1 障害者の雇用状況報告義務があり、令和元年の報告時に法定雇用率以上の障害者を雇用している場合、障害者の雇用状況報告義務はないが障害者（*）を1人以上雇用している場合又は堺市障害者雇用貢献企業である場合 2 次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）第13条に基づく認定を受けている場合 3 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）第9条に基づく認定を受けている場合 4 青少年の雇用の促進等に関する法律（昭和45年法律第98号）第15条に基づく認定を受けている場合 5 65歳以上への定年の引上げ又は定年の定め廃止を行っている場合 6 市内に本社・本店を有している場合 7 ISO14001の認証、エコアクション21の認証・登録、KESステップ2の登録又はエコステージ（レベル3）の認証のいずれかを受けている場合 （*）障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）第2条に掲げる障害者のうち、1年以上雇用され（又は雇用される見込みがあり）、かつ週20時間以上勤務している者	6点	
	合計		100点	100点